

Jim was taken out of the classroom because of his rough attitude to the teacher.

(清泉女子大)

今回のテーマは「意識はどこまで許されるのか」です。

★Jim was taken out of the classroom を能動態に戻すと、S took Jim out of the classroom になるとわかるのが基礎力。ここがあやふやな人は総合英語系で「受動態」を復習してください。

★take A out of B で「A を B から連れ出す」くらいを意味する熟語ですが、この熟語自体は知らなくても基本動詞 take の意味と前置詞 out of の意味を知っていれば比較的容易に推測できるはずで

★his rough attitude to the teacher は直訳「教師に対する乱暴な態度」で問題ありませんが、ここでは次のような「訳の工夫」を紹介します。

Successful reproduction is essential to the survival of a species.

(センター試験)

これを「成功する繁殖は種の生存にとって必要不可欠だ。」と訳しても「成功する繁殖」の部分が日本語として不自然です。ここは普通「繁殖が成功すること」とします。「『形容詞＋名詞』をそのまま訳して不自然な時は『名詞 be 形容詞』と読み換えると自然になる」(ここでは reproduction is successful と読み換えた)と覚えておいてください。

★ここで「意識」について一般的な見解を示しておきます。どこかで誰かに「こう訳すといひよ」と習ったやり方であれば問題ありません。しかし、試験会場で受験生がその場で思い付いた「意識」は十中九までは「誤訳」です。

★形容詞 rough は、ここでは「乱暴な、粗暴な」。訳語には同じ漢字(ここでは「暴」)が含まれていることが多く、このことに注目すると覚えやすくなる場合があります。例えば名詞 practice は「練習、習慣、実習、実行、実践、実務、業務、開業、営業」です。

### 【訳例】

- ①ジムは教師に対する乱暴な態度が原因で [教師に対する態度が乱暴だったので] 教室から連れ出された。
- ②ジムが教室から追い出されたのは教師に対する乱暴な態度が原因 [教師に対する態度が乱暴だったから] だ。

<添削>

ジムは教師に無礼な態度を取ったので、教室から追い出された

☹ 「教師に無礼な態度を取った」の部分は正直悩ましいです。問題文の内容を表してはいますが、「和訳」として妥当かどうかは微妙です。「こういうときはこう訳す」という法則化ができないためです。「減点される可能性あり」としておきます。